

やはば

議会だより

229
2024.7.25
岩手県
矢巾町議会

6月議会で補正予算可決

児童手当の対象拡大、所得制限なしに 2

町政を問う

12名の議員が一般質問 5

目的は町政発展のため

令和5年度政務活動費報告 18

賢治も愛した南昌山の夕日
(関連記事…P20)

過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中



対象拡充、所得制限なしに

4月26日に開催された4月会議では一般会計補正予算を、5月9日に開催された5月会議では工事請負契約変更や損害賠償に関することを審査し議決しました。

また、6月7日から17日までの10日間に開催された6月会議では、条例改正や補正予算などを審議しすべての議案が可決しました。

4月会議

補正予算

主な歳入

- ▽物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2億円
- ▽財政調整基金繰入金 8,189万5千円

主な歳出

- ▽合併70周年特別番組制作業務委託料 187万円
- ▽住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策給付費 2,930万円
- ▽低所得者支援および定額減税補足給付金(調整給付) 2億4,000万円

主な質疑

質問 合併70周年記念特別番組の放送時期は。
回答 令和7年3月中に、30分の特別番組をテレビ放送する予定。

6月会議

補正予算

主な歳入

- ▽被用者3歳以上中学校修了前交付金(児童手当) 4,550万8千円
- ▽財政調整基金繰入金 5,869万5千円
- ▽新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業に対する助成金 4,287万7千円

主な歳出

- ▽児童手当・特例給付 5,328万円
- ▽コロナウイルスワクチン接種委託料 4,287万8千円
- ▽やはば農業担い手応援事業補助金 300万円
- ▽町有地植樹場所環境整備事業委託料 250万円
- ▽矢中町創業支援事業補助金 34万円

児童手当制度の新旧比較

年齢	現在の制度	
0歳～2歳	一律 1万5千円	
3歳～小学生	1万円	第3子以降 1万5千円
中学生	一律 1万円	
高校生	なし	
所得制限	あり	

↓

年齢	新しい制度 (令和6年10月分から)	
0歳～2歳	1万5千円	
3歳～小学生	1万円	第3子以降 3万円
中学生	1万円	
高校生	1万円	
所得制限	なし	

主な質疑

質問 児童手当システム改修業務委託の内容は。
回答 令和6年10月分から改定される。

所得制限の撤廃、高校生まで対象拡大、第3子以降3万円の支給、年3回だった支給回数が年6回になるなど、これらすべての改正基準に対応したシステムに改修する。

質問 コロナウイルスワクチン接種の公費負担額は。
回答 今後、盛岡市や紫波郡医師会などと協議のうえ決定。

なお、64歳以下は任意接種で、全額自己負担となる。

質問 いわて森林の感謝祭の整備地の広さおよび事業終了後の予定は。
回答 整備地の広さは2,689平米を予定。10月のいわて森林の感謝祭にて記念植樹を行う。ソメイヨシノやヤマツツジなどを植え、その後は公園のような扱いで管理していく想定である。

条例改正

包括支援センター 職員配置柔軟に

矢中町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正。

これにより、地域包括支援センターにおける職員配置の柔軟化を図る。

主な改正内容

地域包括支援センターの職員の配置基準を改正。

原則 第1号被保険者3千人以上6千人未満ごとに、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を常勤職員として各1人配置。

改定後 地域包括支援センター運営協議会が必要と認める場合、※常勤換算法で得た数によることができる。



矢幅駅西口にある地域包括支援センター
(南昌ケアセンター内)

また、地域包括支援センター運営協議会が効果的な運営に資すると認める場合は、複数の地域包括支援センターが担当する区域をひとつの区域として、区域内の被保険者数を合算し、それに応じた常勤職員などの配置を行うことができる。

主な質疑

質問 この条例の改正により、どのような影響があるか。

回答 全国的に人員確保が難しい現状を受けて今回、条例を改正する。

地域包括支援センターとの協議においては、現状、人員不足はないと聞いている。また、運営を委託している社会福祉法人の人員体制に不足はなく、現時点では条例改正による影響はない。



財産取得

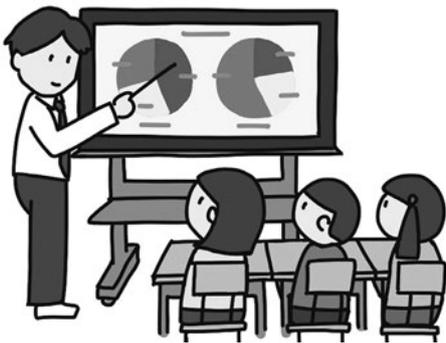
中学校電子黒板

GIGAスクール構想をもとに整備した一人一台端末の利活用を進めることを目的に、電子黒板を購入。

矢中中学校 23台
矢中北中学校 22台

計45台

学習用端末と無線接続でき、ミラーリング機能も搭載された75型の電子黒板を、普通教室・特別教室・特別支援教室に1台ずつ配置する。



消防ポンプ車

第3分団第13部で現在使用している消防ポンプ車は、平成9年10月に購入し、27年が経過。能力低下が懸念されるため、更新を行うもの。

町消防団をはじめ地元後援会と協議し、2トン車ベースのCD-I型を選定。

冬季間の安全面に配慮した四輪駆動車で、最新鋭の装備を備えている。



*常勤換算法…非常勤職員を含めた職員の勤務延べ時間数を、常勤職員が勤務すべき時間数で除することで、常勤の職員の人数に換算する方法。

各議案の採決状況

令和6年定例会4月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 豊	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 安子	水本 淳一	村松 信一	昆 秀一	赤丸 秀雄		谷上 知子	
議案第57号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和6年定例会5月会議

議案第58号	町道谷地線交通安全施設整備その1工事請負契約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第59号	町道島線交通安全施設整備その4工事請負契約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第60号	給水装置事故による損害賠償請求事件の損害賠償額を定める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和6年定例会6月会議

議案第61号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第62号	矢巾町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第63号	矢巾町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第64号	矢巾町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第65号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算(第2号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第66号	令和6年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第67号	財産の取得に関し議決を求めること 《中学校電子黒板》仮契約額3,058万円、納入期限令和6年8月30日	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第68号	財産の取得に関し議決を求めること 《第3分団第13部消防ポンプ自動車》仮契約額3,168万円、納入期限令和7年3月24日	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席 注: 廣田清実議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。6月会議では議員12人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

●小笠原 佳子 議員 …………… P6

- 1 子宮頸がんワクチン接種について
- 2 熱中症対策について
- 3 軟骨伝導集音器の導入について

●村松 信一 議員 …………… P7

- 1 施策の進捗状況について
- 2 教育全般について

●昆 秀一 議員 …………… P8

- 1 目に見えない障がいはどう向き合い支援するのか
- 2 言葉の重要性を深める活動を
- 3 安全安心な通行をするために

●横澤 駿一 議員 …………… P9

- 1 こどもまんなか社会の実現に向けて
- 2 地域おこし協力隊について
- 3 チョウザメ養殖による町おこしの可能性について

●赤丸 秀雄 議員 …………… P10

- 1 人口減少傾向に伴う町の考えについて
- 2 地域おこし協力隊の活動及び人員増について
- 3 多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターの検討について

●高橋 安子 議員 …………… P11

- 1 高齢者が安心して暮らせる町づくりを
- 2 依存症回復施設へのサポートについて
- 3 町職員の働き方改革について

●小川 文子 議員 …………… P12

- 1 町水道料金の引き下げについて
- 2 物価高騰下における農業支援について

●ササキ マサヒロ 議員 …………… P13

- 1 「音楽のまち やはば」の環境整備について

●齊藤 勝浩 議員 …………… P14

- 1 「物流業界の2024年問題」への対応について
- 2 「岩手県広域サイクリングルート」設定における矢巾町の取組みについて
- 3 南昌自然公園内に建設中の「木質バイオマス発電所」に対する対応について

●高橋 敬太 議員 …………… P15

- 1 住民サービス向上のためのカスタマーハラスメント対策を
- 2 快適な生活を送るためのごみ出しルール違反への対応
- 3 やはば型コミュニティ・スクールの進化のために

●山本 好章 議員 …………… P16

- 1 矢巾町立学校の再編に関する基本方針について
- 2 町内路線バスの利便性確保策について

●木村 豊 議員 …………… P17

- 1 カーボンニュートラルとバイオマス発電との関わりについて
- 2 完全給食費無償化について

一般質問通告書は、矢巾町議会ホームページに掲載しています。



HPVワクチン接種率向上は 個別通知を対象者へ



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

一般質問 町政を問う

動画は
こちら



質問 令和4年度に子宮頸がん(HPV)ワクチンの積極的勧奨が再開され、同時に勧奨差し控え時期の影響を受けた対象者に定期接種と同じ条件でのキャッチアップ制度が設けられた。

しかし、副反応のリスクよりも接種による有効性が確認されているが接種率は伸びず、キャッチアップ制度も3年の時限措置であり、今年の9月末までに1回目の接種を受けなければ完了出来ない。期限の迫る中、接種率を上げる取り組みについて伺う。

町長 正しいHPVワクチンの知識の普及や接種の勧奨は、広報やはばや町ホーム

ページで行っている。キャッチアップ接種の期間が終了になるので、町のSNSややはラヂ、医療機関でのポスター掲示のほか、未接種の対象者へ改めて個別の通知を行う。

質問 HPVワクチンの男性接種の有効性と助成は。

町長 男性は任意接種となっており、肛門がんなどの予防効果が示されている。助成は、国の動向を注視し検討。

熱中症対策は

暑さを避ける

場を確保

質問 昨年は気候変動の影響により記録的な猛暑が続いた。今年も酷暑が予想されるが、熱中症予防の取り組みは。また、町内の公共施設、小中学校の冷水機の設置状況は。

町長 町のホームページやはラヂで普及啓発を行う。現在は冷水機設置の施設はないが、役場庁舎、さわやかハウス、町公民館に今後設置する。そして、暑さを避ける場所として活用する。

教育長 冷水機設置の学校はないが、児童生徒は水筒を持参し、水分補給をしている。

軟骨伝導集音器の導入は

現在考えていない

質問 公共施設窓口で、難聴などによる大きな声での対応策として、補聴器より安価である軟骨伝導集音器の導入の考えは。

町長 受話器タイプの集音器を設置済みであるため、現在は導入を考えていない。



子宮頸がん(HPV)ワクチンの接種を

南昌山周辺の環境保護策は 看板などで環境保護を周知



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



南昌山の白根葵（シラネアオイ） 紫色の花が咲く

観光資源として活用してはどうか。

町長 周辺は国有林であり山の採取は難しいが、自然環境保護と観光の両立に努める。

質問 志波三山を県立自然公園として申請してはどうか。

町長 過去にも検討したがさまざまな実情から実現しなかった。城内山、赤林山などが西部地区の活性化につながるよう活用を検討する。

赤林地区に新駅誘致の考えは

優先度は低い

質問 今後、人流増加が予想される赤林地域に、東北本線の新駅を誘致してはどうか。

町長 新駅設置にかかる財政負担などを考慮し、駅新設の優先度は低い。

質問 合野々踏切は、宅地開発などにより利用者の増加が見込まれる。廃止とならないような対応をすべきと思うが。

町長 当分の間存続することになっていくが拡幅はなく、将来的に廃止も予想される。

質問 農業・商業・工業を活性化させ、産業間の新たな価値を共創する「矢巾町農商工共創センター」の設置は。

町長 矢巾町農商工共創協議会の名称で5月21日設立。業種間の枠を超えて事業の実施を通じ、町全体の産業の活性化、地域経済循環の促進に寄与することを目的とする。

学校の働き方改革は

持ち帰り減少の対応を図る

質問 可視化されづらい持ち帰り残業の対応は。

教育長 町教職員衛生委員会を組織。各校の課題や解決の情報共有を図り対応している。

質問 町立学校の再編計画は。

教育長 矢巾町立小中学校の再編整備計画を策定予定。

目に見えない障がいへの理解

啓発活動などで取り組んでいる



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員
(新誠会)

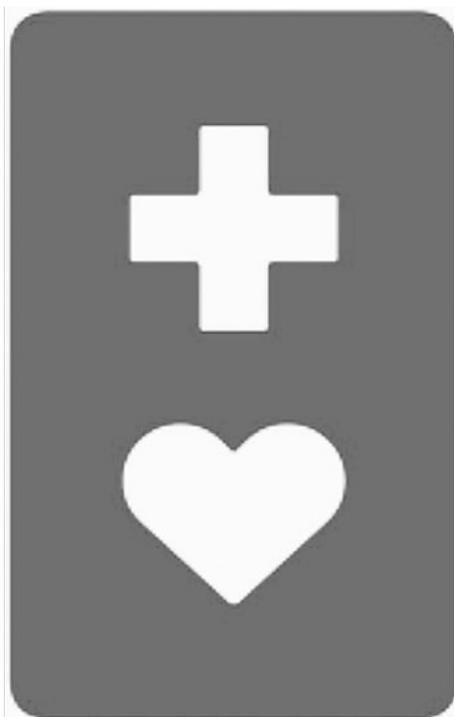
動画は
こちら



質問 目に見えない障がいは目に見える障がいに比べ、理解が得られにくい。

話したり動いたりしないと健常者と変わらないと思われ、することも多く、障がいと気づかれた時点で異質な存在として扱われてしまうことになる。

町長 障がいの特性をわかりやすく解説したパネル展示や、パラスポーツを開催。さらに、障がいをお持ちの方の講演など、多くの町民が参加できるイベントを開催し、障がいへ



さらなる普及が望まれるヘルプマーク

の理解を深めるための研修や啓発活動に取り組んでいる。

言葉の教育の

考えは

言葉は情報伝達に欠かせないもの

質問 言葉はコミュニケーションや情報伝達のための強力なツールである。また、言葉は個々の感情や考えを表現し、他者との関係を構築するための重要な手段である。

小中学校においての言葉の教育は、どのような考えのも行われているのか。

教育長 言葉は、人と人をつなぐコミュニケーションや情報伝達に欠かせないものであると認識している。

学校においても、言語活動は全ての教科において欠かせない活動である。

各種活動を行うことでの確かな対話活動や情報伝達能力が高まっていくと捉えている。

生活道路の整備 優先順位は

複数の項目を

総合的に判断

質問 安全安心な通行をするための生活道路について、優先順位はどのように決められるのか。

町長 生活道路の整備は、路面状況、有効幅員、車両の交通量、歩行者などの通行量、住宅地などの割合、危険度、地元の同意状況、用地補償の状況、物件移転補償の状況、事業の実効性など複数の項目を総合的に判断し、優先順位を定めている。

チョウザメ養殖による 町おこしを

引き続き研究していく



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)

動画は
こちら



質問 農地を内水面養殖地に農地転用することは可能か。
農業委員会会長 仮に第一種農地の場合、水辺に設置される必要がある「水産動植物の養殖用施設」であることを前提に、その農地でなければ事業目的の達成が果たせないことが認められれば、農地の転用ができる。

質問 チョウザメからキャビアが取れるまでは10年かかる。まずは小さく始めるところから出発し、長い目で大きい成果が期待できることから、町として調査研究を始める価値があると考えるが、見解は。

町長 収入が得られない初期は、先行投資が課題。行政主導ではなく、民間での取り組みに繋げることができれば、町内の資源活用による特産品開発、町おこしにも寄与するものであるから、引き続き研究していく。

こども家庭センターの状況は

多様な地域資源と連携し運営中

質問 今年度設置された、こども家庭センターの相談件数や運営はどのような状況か。

町長 母子保健部門と児童福祉部門が一体的に相談支援を行う体制になっている。令和5年度の児童家庭相談受理件数は185件となっている。

質問 家でも学校でもない「子ども第三の居場所」のような居場所づくりが必要では。

教育長 町内では、20人前後がフリースクールなどを利用している。こども家庭庁が子

どもの居場所の定義などを示したことも踏まえ、本町としての方向性を研究していく。

地域おこし

協力隊、今後は

業務委託方式による採用を予定

質問 この事業の肝は、的を絞って募集をかけて本町にとって必要な人材とマッチングすることだと考えるが、今後の方向性は。

町長 町農商工共創協議会内で本町の課題を洗い出し、その課題解決を行う人材を募集することを一つの手段として検討している。



養殖に適した水資源



町内でチョウザメ養殖を



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(新誠会)

動画は
こちら



少子化対策に婚活支援強化を 『矢あコン』 推進に努める

質問 厚生労働省発表の昨年度の出生数は、全国で72万7千人余りであり、過去最低となった。出生率も1.2となり、最大の要因は若い女性の婚姻件数が低下していることである。

第一の理由に、出会いの場が少ないとの調査結果が示されていることから、町で実施の『矢あコン』の積極的な開催を望むが。

町長 年3回『矢あコン』の開催でカップル誕生の成果はあるが、結婚まで至ったのかは把握していない。開催内容など工夫を凝らし、結婚のゴールに繋がるよう推進する。

婚活は自治体 企画が重要

若い方のニーズ
把握が大事

質問 若い男女への調査で自治体企画の婚活は、安心して参加・登録しやすいとの結果が出ており、町の認識は。

町長 婚姻率向上に町には何が必要であり、若い方々は何を望んでいるか把握を行い活気のあるまちづくりに努める。

地域おこし協力 隊募集の継続を

募集に向け
業務などを精査中

少子化に歯止めを



質問 町内で活動し、町民に躍動・活性化を与えている協力隊員の募集は、現在なぜ行っていないのか。

町長 各担当課において、協力が携わる業務について検討しており、整い次第、募集を行いたい。

質問 協力隊と集落支援員制度を併用活用している県内の自治体があり、当町も導入を考えるべきと思うが。

町長 集落支援制度は過疎地域への適用と考えていた。高齢化社会の対応など色々な活用があることを踏まえ、近隣市町を参考に導入を考えたい。

体育館の建設は 令和8年4月予定

質問 来春統合開校する「仮称」南昌みらい「高校東側に県が建設予定の体育施設は、いつの開館となるか。

町長 現時点では、令和8年4月からの利用を目指している。

高齢者が安心して暮せる町を 地域の繋がりを推進



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

動画は
こちら



質問 近年一人暮らしの高齢者の中に、独居状態で亡くなる方が増えているとの報道があった。本町での独居高齢者世帯はどのくらいか。
また、孤独死の解消に向けた町の取り組みは。

町長 令和2年の国勢調査では、本町の独居高齢者世帯数は755世帯、高齢者のみの世帯は900世帯であり、前回調査より30%以上増加。町では、公的サービスを利用していない独居高齢者世帯などにアンケート調査を実施し、健康面などに不安のある方や返信のない方を保健師が中心となって、随時訪問している。

質問 町からのお知らせなどを、スマホで検索したいという意見がある。各地域で実施している居場所づくりで、講習会を実施してはどうか。
また、健康診査予約を手伝うことで、受診率も向上すると思うが、その考えは。
なお、その際の移動手段の確保も考慮しては。

町長 スマホの安全な使い方について、生涯学習事業として令和4年から実施している。今後は健康診査の予約も含め「エンジヨイ」などの地域居場所づくりなど、機会を捉えて周知していく。後期高齢者の健診時の移動については、タクシー支援を実施する。

依存症回復施設 への支援を

理解を深める

啓発事業を実施

質問 ギャングル依存症回復支援施設が本町に開設され、ミーティングや地域でのボランティア活動を通して回復を



依存症回復に向け、ボランティア活動にいそしむ

図っている。農業経験者やスポーツの得意な若者も多いことから災害時の協力、農業や少年野球、部活の補助として回復を支援することはできないか。

町長 災害ボランティアとしては事前登録を含め働きかけ

を行う。農業支援については、課題や不安を理解した上でお互いの利益につなげたい。

教育長 施設利用者に部活などの指導ボランティア希望の有無や受ける側のニーズを確認しマッチングが成立した場合に協議していきたい。

水道料金の引き下げを 現時点では考えていない



おがわ ぶんこ 議員
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



一般質問 町政を問う

質問 水道会計は良好であり、高区配水塔の解体と建設計画を見直せば水道料金の引き下げは可能であると考えます。また、この計画の見直しをせずに続行すれば将来赤字が予測され、町民負担の増加が懸念される。

現計画では30以上の杭基礎工事が必要であり、建設費が9億9千万円と倍増するが、国庫補助の対象になるか。

町長 建設費を軽減するため現計画の工法検討を行い、併せて国庫補助の対象となるよう国に要望していく。

質問 国への要望を継続しながらの工事はできるのか。

町長 同時進行はできないので発注に間に合うよう努める。

質問 平成25年の大雨洪水被害を受けた地域であったが、直接的被害がなかったこと、厚生労働省では水道施設を70年実使用可能との見解が示されていることから、建設計画を見直して物価高騰対策を優先し、水道料金の引き下げができないか。

町長 安全安心な水道水を安定的に供給するために必要な施設と捉えており、本事業を進めることにより水道料金の

引き上げとならないよう他事業との調整を図りながら本事業を進めていく。

物価高騰対策のための水道料金の引き下げは必要な事業の先延ばしを意味し、町民にとって有益としないことから現時点では考えていない。

農業支援を 国・県に要望



豊かな田園が広がる、わが町

質問 農業資材の物価高騰が著しい。令和2年度比で重油価格が150%を超え、肥料は135%、飼料は144%となっており、各農家に対し継続した支援が必要では。

町長 昨年度は畜産農家緊急支援給付金事業、農業者物価高騰対策支援事業を実施したところであり、国・県に対し継続を要望している。

質問 農業を取り巻く環境が厳しさを増している中、国会では食料・農業・農村基本法関連3法案が可決された。その一つ、食料供給困難事態法案は輸入途絶などの不足の事態に際し、供給に関する計画の提出が義務付けられており、従わない場合罰則もあることから、農家からは不安の声も聞いている。町としてどう対応していくか。

町長 町としては注視しており懸念も併せて認識している。引き続き情報収集に努めるとともに今後の状況を見極めつつ、関係機関と協議の上対応していく。

音楽のまちへの取り組みは 音楽祭の内容をさらに充実



ササキ マサヒロ 議員
(新誠会)

動画は
こちら



質問 「まちを歩けばどこからともなく音楽が聞こえてくる」とあるが、その達成度について、どう認識しているか。

教育長 第7次矢巾町総合計画において音楽のまちの推進を掲げており、芸術祭の参加者数をまちづくりの指標としている。令和5年度は800人の目標に対して、2日間の参加人数は750人であったため、達成率は93・8%。第8次総合計画におけるまちづくりの指標は、令和9年度の音楽祭来場者数を千人として、音楽祭の内容をさらに充実させていく。

質問 音楽を聴く機会や場所はあるとしても、音を出す機会や場所が少ないと思うが、今後どのような取り組みを考

えているのか。

教育長 音楽のまちを推進するにあたり、徳丹城曲家ミュージックフェスティバル、田園ホール自主事業であるピアノフェスティバルを開催。

また、楽器や合唱などの音を出す練習場所としては、町内サークルの皆様には町公民館で、バンドなどで活動されている皆様には、やはばーく内のスタジオで、広くご利用いただいている。

今後も、町民の皆様が音楽を身近に感じられる取り組みを推進し、いつでもどこでも音楽が聞こえるまちづくりに努める。

質問 令和元年に「音楽のまちで元気に演奏することもしたい！」とのタイトルでふるさと納税のクラウドファンディングを実施したが、目標達成率が9・5%で終わってしまった原因を、どう認識しているか。



駅前などで音楽を鳴らせる整備に期待

教育長 このクラウドファンディングでは、500万円の目標金額に対し、県内外の個人の方から、合計47万5千円のご寄付をいただいた。達成率が9・5%となった

要因は、本クラウドファンディングがどのような内容のプロジェクトに活用されるかなどの説明や周知を十分に行えなかったことであると認識している。



さいとう かつひろ
齊藤 勝浩 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



物流2024年問題の対応は 負担軽減の啓発に努める

質問 働き改革の一環で、時間外労働の上限規制が物流業界にも適応となった。物流の町矢巾として、持続可能な社会形成を目指し、大きな問題となっている再配達を減少させるための宅配ボックス設置の推奨および購入費用の一部補助はできないか。

町長 物流事業者の再配達に伴う負担増加は認識している。物流事業者へ実情確認を行ったが、一定の効果はあるが宅配ボックス設置増だけで解決する問題でもなく、社会的課題としての取り組みが必要。

質問 町民には共働き世帯や農業従事世帯、学生などが暮らす集合住宅の割合が多い。宅配ボックスを多くの方が

設置し、配達を一度に済ませることができれば、長時間労働の圧縮、置き配の盗難防止による治安維持効果、交通安全、車両運行時間短縮によるCO₂削減などに貢献できるのでは。

町長 物流の町として、物流関係に従事される方々の負担軽減につなげるべく、すぐにできる解決策に取り組む。

町のサイクリング ルート設定は 効果的な地域ルー ト計画策定に着手

質問 岩手県自転車活用推進計画による県4ブロックルートの設定が決定。本町のルート設定区域と、サイクリングテーションの整備計画は。

町長 県設定ルートは、東部徳田地区の長徳橋〜徳丹城跡地〜都南中央橋である。

サイクリングテーションの要件を満たす施設として、矢巾町歴史民俗資料館を申請し、登録となった。

また今後は、市町村自転車活用推進計画にも着手し、町内のコース設定も行う。

木質バイオマス 環境に影響は

公害防止協定 締結に向け協議

質問 建設中の木質バイオマス発電所は、南昌自然公園の中心地にある。操業にあたり、大型車の往来や環境に充分配慮する必要があるが、準備されているか。

町長 事業者には県条例の規制に準拠した対策を求めている。現在、公害防止協定の締結に向けて協議を重ねている。



サイクリングステーションの要件を満たす矢巾町歴史民俗資料館

ルール違反ごみへの対策は 監視カメラで抑止効果を



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)

動画は
こちら



質問 ごみの出し方が守られていない現場を見ることは、住民にとって大きなストレスとなる。違反への対応は。

町長 持ち帰るように促す注意書を貼るなどに対応。警察に通報する場合もある。

質問 住民が自主的に片づけてはいるが負担は大きい。協働による負担軽減策の道は。

町長 今後、関係各所で検討していかなければならない。

質問 可搬式監視カメラ貸出事業による抑止効果に期待している。事業拡大の予定は。

町長 設置したごみ集積所の不法投棄は減少しており、抑止効果は得られている。申請件数に対して台数は少ないため、1台増台の予定。



快適な生活のために改善が望まれる

質問 町のアプリ「やはナビ」には道路通報システムがあるが、同様に町民がごみ集積所内の違反ごみを撮影して町へ通報する仕組みを追加し、実態の把握と監視カメラの設置を連動して推進してはどうか。

町長 住民に見られているという発信は非常に良い取り組みと思われているので検討したい。

学校運営協議会の活動は

地域との協働をテーマに体制構築

質問 学校運営協議会の目的は、多くの意見を学校運営に反映させることだが、どのように取り組みられているのか。

教育長 地域・PTA・学校の合議体としており、各組織から地域および保護者の代表として意見を頂いている。

質問 この協議会を広く周知することで、委員以外からも多く意見集約ができるのでは。

教育長 参画意識をどう醸成するのも合わせて考えたい。

質問 学校経営に子ども自身も参画することが、大きな成長へつながるのではないかと。

教育長 子どもの意見が反映される取り組みを検討したい。

質問 地域の様々な団体との関係強化を求める。農業（農業体験・食育）、音楽（吹奏楽・合唱・伝統芸能）、医療（尊厳・道徳）、商工会（キャリア・消費者教育）など、各校でどのような特色ある教育を行うのかを協議し、広がりのある活動を望む。

教育長 義務教育9年間つながりのあるキャリア教育により、児童生徒を育成できるように、地域と連携していきたい。



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)

動画は
こちら



学校再編整備計画(案)の進捗は 本年度中に素案を策定

質問 学校再編整備計画(案)の策定までのスケジュールはどのように計画されるのか。

教育長 現在「学校再編整備計画(素案)」に着手したところである。本年度中に素案を策定し、来年度以降に学校、保護者および地域の意見などを聴取し、その後「学校再編整備計画(案)」を策定する。

質問 徳田小学校の移転・建て替え計画の策定見込は。

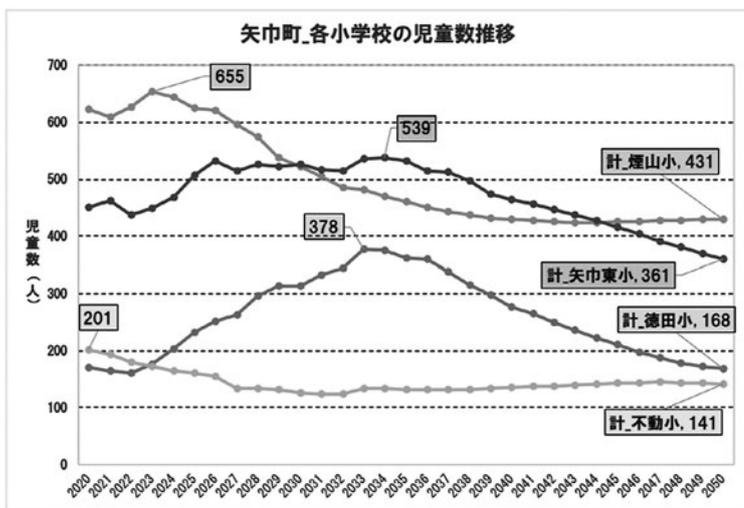
教育長 国指定史跡徳丹城跡の指定地内にあることから大規模改修できない状況。併せて、中学校区を基本とした小学校の再編を進めるため総合的に勘案し策定する必要がある。

質問 各学校の大規模改修はどのよう計画されるのか。

教育長 多くの学校で老朽化が進んでおりメンテナンスが必要。特に雨漏り対策が必要である。プールの維持改修

質問 I C T関連の整備も必要とされているが、予算措置などの長期的計画はあるのか。

教育長 G I G A スクール構想は令和2年度に動き出し、



矢巾町立学校の再編に関する基本方針
(令和5年12月21日 矢巾町教育委員会)より

5年目迎えたが、その都度、国や県の動向を把握しながら整備に努めている。

町内バス路線の 利便性確保

運行経費に 町補助金を交付

質問 町内路線バスの運行確保のためにやっていることは。

町長 町内を運行している一部の路線については、運行経費に対する町補助金を交付している。

質問 路線バスが運行する道路は優先的に整備・管理がされているか。

町長 日頃から、道路管理者により適切に整備管理を実施。

質問 利便性を考慮して低床バスの車両購入補助は検討できないか。

町長 交通事業者と協議の上で導入の意向があった場合、関係自治体との連携も視野に入れながら慎重に検討する。

建設中のバイオマス発電所

民間事業者の発電事業



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



質問 バイオマス発電所の建設場所は景観にそぐわないと思うが、町と事業者間で協議検討されたか。

町長 民間事業者の発電事業で、建設場所は法令などの許可が得られるのであれば、町として反対する立場にない。「農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画」に基づき、景観が損なわれないよう配慮されている。

質問 発電所の進出にあたり、本町が支出した経費などはあったのか。

町長 事業者説明会に職員が出席した以外に経費負担は生じていない。今後、町の制度などを活用することによる財政負担が発生する場合もあると見込んでいる。



南昌自然公園内のバイオマス発電所の建設予定地

給食費の完全無償化を単独実施は考えていない

質問 給食費の無償化により、子どもたちに与える恩恵は多大なものと考えていることから、無償化拡大の検討は。

教育長 経済的な事情などにより給食費の支払いが困難な世帯に対しては、別途、就学

援助制度による支援を行い、実質的な無償化が図られていることから、現時点では無償化の拡大は考えていない。

質問 昨年度は「第3子以降の無償化を開始したばかり」で、検証してからの判断と理解していたが、それ以降の進捗状況は。

教育長 導入の効果や影響などの検証を行うには今しばらくの期間が必要と考えている。

質問 県内で全額無償化しているのは11市町村で、第3子以降無償化は本町を含め2市町となっている。

盛岡広域8市町との兼ね合いもあると思うが、単独で先行しては。

教育長 本町のみならず、全国各地でさまざまな議論が行われている。この状況を踏まえ、完全無償化は社会全体の課題として全国的な枠組みの中で議論されるべきものとして認識しており、単独で先行実施することは考えていない。

令和5年度

政務活動費収支報告

令和5年度の政務活動費収支状況をご報告します。

「このお金は無駄だったのではないか」と町民の皆様にご懸念を抱かせることなく、確実に町政発展のために寄与していくことは議員としての責務です。

町民の皆様の期待に応える議会を目指して、信頼され存在感のある議会を築き、今後も一人ひとりが誠実に議員活動に取り組んでまいります。

会派名	町民の会	新誠会	矢巾 未来の会	日本共産党 矢巾町議団	公明党	子育ても 老後も	強くやさし い矢巾
会派代表	水本淳一	昆 秀一	谷上知子	小川文子	小笠原佳子	高橋敬太	横澤駿一
所属議員 (議席番号順)	高橋 恵 吉田喜博 藤原信悦 高橋安子 廣田清実	ササキマサヒロ 山本好章 赤丸秀雄	齊藤勝浩 村松信一	木村 豊			
収入	政務活動費 (①)	960,000	640,000	480,000	320,000	160,000	160,000
支出	調査研究費	516,560	174,853	489,348	325,117	43,770	117,102
	研修費	3,600	7,200	7,200	7,200	63,400	3,680
	会議費	-	1,200	-	-	-	-
	資料作成費	-	-	-	-	-	-
	資料購入費	-	-	-	-	-	-
	広報費	-	258,453	-	-	-	-
	事務費	-	-	-	-	-	-
	合計 (②)	520,160	441,706	496,548	332,317	107,170	120,782
収支差引残額 (①-②)	439,840	198,294	△ 16,548	△ 12,317	52,830	85,740	39,218

政務活動費ってなに？

議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。

矢巾町では、会派に対して、議員1人あたり月額1万6,000円を予算としています。

令和5年度は町議会議員選挙が行われたため、6月から3月までの10か月分の交付となっています。

残額分はどうするの？

政務活動費に残額が生じた場合は町に返還し、また、不足分(マイナス分)は個人負担となります。

詳細を知るには？

収支報告書や領収書などの明細は、矢巾町議会ホームページでご覧いただけます。



議会からのお知らせ

令和5年度の主な調査研究・研修活動一覧

	開催日	内容	参加会派
先進地視察	令和5年 7月23日～25日	徳島県上勝町・三好市 ・先進的なりサイクルへの取り組みと地域住民の意欲について ・認知症カフェ及び子育て支援センターの運営について	矢巾未来の会 日本共産党矢巾町議団
	令和6年 1月25日～26日	東京都足立区 ・学校給食の無償化までの取り組みの成果の課題について ・夜間中学実施までの取り組みの成果と課題について ・東京いずみ幼稚園の幼児教育の取り組みについて	矢巾未来の会 強くやさしい矢巾 子育ても老後も 公明党
	令和6年 1月30日～31日	山形県小国町・南陽市 ・官民学連携での木材を利用した再生エネルギー事業について ・ラーメン課プロジェクトによる地域活性化と賑わい創出事業について	新誠会 日本共産党矢巾町議団 強くやさしい矢巾
	令和6年 2月6日～8日	群馬県高崎市・太田市・茨城県水戸市 ・高崎市の歴史ある「音楽の街」の施策について ・「ぐんまこどもの国」の施策について ・水戸美術館と一体となった芸術文化活動と歴史的資源の活用について	町民の会
研修	令和5年 8月17日～18日 10月30日～31日 令和6年 1月22日～23日	・「自体予算」を考える研修 ・「地方行財政」について地方議員に求められる役割を多角的に学び考える研修 ・「福祉」について地方議員に求められる役割を多角的に学び考える研修	公明党
	令和5年 8月18日 令和6年 2月18日	・「自治体財政」を学ぶ研修 ・「予算審議」について学び今後の議会活動に活かすための研修	子育ても老後も
	令和5年 11月13日	・地域課題解決に向けた仕組みづくりと人手不足・労働供給制約社会について	強くやさしい矢巾
	令和6年 3月25日	・超高齢化人口減少社会におけるコミュニティ活動について	強くやさしい矢巾 新誠会 町民の会 公明党 矢巾未来の会 日本共産党矢巾町議団

私も



ほそこえ
孝範
さん
(流通センター)

「お忙しい中、傍聴にお越しいただき、ありがとうございます。きっかけは。(細越さん) 知り合い議員から声がかかり、初めて傍聴しにきました。」

「一般質問を傍聴して、感じたことはありませんか。(細越さん) 昨年選挙があり、年配の方だけでなく若者も議員になりました。若いなりの提案や意見が出て、パワフルな訴えに驚きました。」

「若い議員が町を引っ張っていくことは、長期的な視点で見ても良いことだと思います。」

「興味関心のある項目はありましたか。」

「(細越さん) やはりチョウザメですね。今すぐできないことでも、新しいことに挑戦し

6月10日の一般質問を傍聴された方に、感想などをインタビューしました。ご協力に感謝申し上げます。

「ようという前向きさが良い。また、知り合い議員は福祉の観点で現場の声をしっかり届けているなど感じました。」

「目線を下げて質疑できるのが彼の強みでもある。」

「議会や町に望むことなど、最後に一言いただけませんか。」

「(細越さん) ひまわり畑の周辺の草木が伸びているのが残念。せっかくの観光スポットなので、周辺の環境整備も併せて行ってほしい。また、害獣対策にも今後力を入れてほしいです。」

「今日、初めて傍聴し、議会ではさまざまな話し合いをしていることがわかりました。町民の皆さんには、議会だよりを読むだけでなく、ぜひ、傍聴しに議場に足を運んでほしいです。」

まちの人



仲間とともに菊づくりを楽しむ筆者



J Aいわて中央年金友の会徳田支部元副会長

谷村 清朗 さん (間野々)

皆で協力し 菊づくりを楽しむ

私の菊づくりは、今から20数年前に、近所の老人クラブで菊をつくっていた方から「お前もやってみろ」と声をかけられ、苗をもらったことから始まった。菊づくりは、JAいわて中央年金友の会徳田支部の活動として行われており、当時は町内の他の支部でも行っていた。また、作品は町の秋の「産業まつり」に出品されていた。

るさまを見て、これで本当に今年は咲くのかと気をもんだりしたが、結果は遅咲きながら咲いてくれた。菊も秋の気配を感じて花を咲かせてくれたようだ。

また、会員数が減少傾向にある状況からこれから先を考えると、これまで続けてきた菊づくりに、不安がないとも言えない。理由としては、加齢による筋力の減退などには、

それ以来、私もこれが縁で、今日まで菊づくりを続けている。これまで続けられてきた理由は何かと考えると、一つは共に菊づくりをする仲間がいること、もう一つは、年ごとに気候が変化する中で、きれいに咲かせるためにどうすれば良いのかいろいろ試行錯誤し、花の咲く姿を思い描き、楽しみながら育て続けてきたことにあると思う。

難儀する鉢の移動などには、会員同士の協力がもつと必要になるのではと思っている。今後、菊づくりを進めて行く上でいろいろな課題の解決が求められると思うが、皆で協力し、楽しみながら菊づくりを進めて行きたい。

展示会のお知らせ
場所 矢巾町活動交流センター
期間 (やはば一く)
 令和6年10月29日(火)
 ～11月4日(月・祝)

あ と が き

表紙によせて
 町内の宮沢賢治ゆかりの地を巡る「日輪祭」が6月22日に開催され、藤原健次郎生家(白沢)での「日輪と山」の風景も堪能しました。



委員になって5回目の編集を行いました。個人的には広報委員の間に、表紙タイトルのデザインを新しいものにしたと考えています。矢巾に繋がるデザインで、1人でも多くの方々が興味を持てる議会広報紙づくりに努めてまいります。

発行・編集責任者 議長 廣田 清実
 編集委員 委員長 藤原 信悦
 副委員長 小笠原佳子
 委員 高橋 恵
 高橋 敬太
 ササキマサヒロ